

一般財団法人共愛会 (2021年認定)

計画期間中の取組の概要

計画期間：平成31年4月1日～令和3年3月31日

業種：医療・福祉

労働者数：311人（男性66人、女性245人）

計画期間の育児休業等の取得状況

育児休業取得率 男性 100%

育児休業取得率 女性 95%

主な取組内容

・ 所定外労働時間を20%削減する

所定労働時間の削減を年度目標とし、部署全体で削減に取り組んだ。特に個人においては時間に対する意識付けを行うため、事前に残業時間や業務内容を上司に届け出ることを徹底した。

その結果、平成30年度に比べて令和元年度は18%削減、令和2年度には24.1%の削減を達成することができた。

・ 育児を行う女性労働者のキャリア形成を支援する

管理職の手前の職階にある女性労働者に対し、管理職として必要なマネジメント能力等付与のための研修会への参加を奨励した。



特例認定取得を目指して取り組んだきっかけ

当法人は、託児所の設置、有給休暇の取得促進、短時間正職員制度、育児休業の全員取得など様々な取組を行い、平成31年4月に認定マークを取得しました。その結果、出産・子育てによる退職者もなく安心して仕事が続けられる環境が整ってきました。そして、今回、増加傾向にあった時間外労働の削減を数値目標に掲げ達成することで特例認定マークを目指そうと取り組みました。

これから認定を目指す企業へのエール

今後、働き方の多様化がますます進み、企業としていかに対応していくかが課題となっています。

特例認定マークを取得するには、運営的にも経営的にも様々なハードルがありますが、取り組んだ結果がマークとして示され、広く認知していただけることは非常に大きなイメージアップにつながると思います。

また、長く続いている人材不足が解消されない中であって、特例認定マークに向け早めに取り組むことが、優秀な人材の確保や定着の近道になるのではないのでしょうか。

認定通知書交付式 令和3年6月28日(月) 一般財団法人共愛会



岡山労働局長(左)と事務局長 山田晴基様(右)